令和7年10月10日

(名称) 余市町地域公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

これまで余市町では、町内に起終点を持つ「余市協会病院線」をおよそ20年に 渡り運行してきた。

当該路線は主に高齢者の通院・買物目的の生活交通を確保する重要なバス路線であったことから、今後とも運行を維持するために「余市紅志高校スクール便」と一体運行化を図るとともに、住民ニーズに合った運行内容の見直しを行うことで、安定的な収益の確保を図り、新たに「余市循環線」を令和4年4月1日から運行開始した。

また、地域の高齢化が進行する中、低密度で広域分散の居住形態に対して、郊外部の移動の足を確保する必要があることから、余市循環線に加えて、交通空白地域である当該地域に新たに自家用有償旅客運送として「余市町デマンド交通」を令和7年11月1日から運行することにより、町民への移動サービスの平準化を図ることとした。

これらの背景から余市循環線及び余市町デマンド交通を地域公共交通確保維持 事業により確保・維持することで、住民の公共交通手段を存続させていくことが極 めて必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

- 余市循環線の年間輸送人数 22,000 人(R5.10~R6.9:22,945 人)

- 余市循環線の収益率 38% (R5.10~R6.9:37.1%)

・余市循環線の行政負担額 3.168 千円 (R5.10~R6.9:3,671 千円)

- 余市循環線のバス事業社負担額 0 千円 (R5.10~R6.9:0円)

・余市町デマンド交通の年間輸送人数 1,788 人 (令和 6 年度:1,239 人)

・余市町デマンド交通の収益率 10.2% (令和6年度:4.3%)

・余市町デマンド交通の行政負担額2,590 千円(令和6年度:8,224千円)

・余市町デマンド交通の事業社負担額 0千円(令和6年度:0円)

※デマンド交通の過年度値については R6 年度7か月間の実証運行時の結果を1年間として再計算し算出。

(余市町地域公共交通計画4頁を参照)

※交通計画4項に記載のとおり、年間輸送人数は、社人研推計による 2025-2030 年人口減少率(生産年齢・老年) 6.63%を見込んでおり、現状の改善となっていない目標となっているが、広報誌へのダイヤ折込等の施策により新規利用者の確保を行い、緩やかな減少を目標とする。

(2) 事業の効果

余市循環線を維持することにより、JR函館本線や広域的なバス路線である積丹線や余市線及びニセコ線と接続を可能とし、主に市街地の通勤利用や、高齢者、高校生などの交通弱者の生活交通が確保され、効率的な公共交通体系が実現できる。

併せて余市町デマンド交通を運行・維持することにより、余市循環線及びJR函館本線や広域的なバス路線である積丹線や余市線及びニセコ線と接続を可能とし、郊外部の交通空白地域の生活交通が確保され、効率的な公共交通体系が実現できる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- 〇余市循環線の路線再編(6頁)※()内は地域交通計画登載項 地域間幹線系統と重複している区間の見直し 実施主体 余市町・交通事業者
- ○郊外部における新たな公共交通の運行(7頁) 郊外部に新たな公共交通を確保する 実施主体 余市町・交通事業者
- 〇低床車両の維持・導入(8頁)

低床式・脱着式スロープ・車いす固定の機能が具備されている車両を現在使用しているが、引き続きこれらの機能を有する車両による運行を継続するとともに、 車両更新時においては同等以上の機能を有する車両の導入を基本とする。

実施主体 余市町・交通事業者

- 〇バス待ち協力施設の確保(9-10頁) バス路線周辺において施設による空間確保への協力を働きかける 実施主体 余市町・交通事業者・沿道施設・店舗、地権者
- ○公共交通関連施策の情報提供(11 頁) 利用促進活動の実施 公共交通の現状や取り組みの情報発信 実施主体 余市町
- 4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運送予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

余市町から運行事業者への補助金額については、運行収入及び国庫補助金を運行 経費から差し引いた差額分を負担することとしている。

「費用総額 15,790 千円」

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

余市循環線の年間輸送人数、収益率、行政負担額及びバス事業者負担額は、北海 道中央バスと余市町から必要なデータの収集を行い、評価を実施する。

余市町デマンド交通の年間輸送人数。収益率、行政負担額及び交通事業者負担額 は、余市町から必要なデータの収集を行い、評価を実施する。

7. 別表 1 の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの 運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

8. 別表1の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

【地域間幹線系統のみ】

- ※該当なし
- 9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

【地域間幹線系統のみ】

- ※該当なし
- 10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

【地域内フィーダー系統のみ】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付。

11. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けよ うとする場合のみ】

余市循環線は、国道、道道においては幅員が十分に確保されているものの、町道の区間においては一部分で狭隘な区間となっている。また、余市協会病院など町内に分布する医療施設への通院目的としても運行しているため、コンパクトなノンステップ型車両を導入することで、効率的な路線設定が可能となるとともに、通院患者や車いす利用者の利便性向上が図られている。

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けよ うとする場合のみ】

(1) 事業の目標

- 余市循環線の年間輸送人数 22,000 人 (R5.10~R6.9:22,945 人)

・余市循環線の収益率38%(R5.10~R6.9:37.1%)

・余市循環線の行政負担額 3,168 千円 (R5.10~R6.9:3,671 千円)

- 余市循環線のバス事業社負担額 0千円 (R5.10~R6.9:0円)

(余市町地域公共交通計画4頁を参照)

(2) 事業の効果

新たにコンパクトなノンステップ型車両を導入することにより、余市協会病院など町内に分布する医療施設へのアクセスや、特に冬期間において道路が狭小となる区間において、通勤、通学及び買物目的の利用に対応する運行を維持することが可能となる。

13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式 車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表6」を添付

なお、地域公共交通確保維持事業によって運行を維持する余市循環線の車両の取得については、購入費用から国庫補助金を差し引いた差額分は、事業者が負担することとしている。

購入費用総額: 17,976,521円 ※税抜き

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における 収支の改善に係る計画(車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策)

【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

- ① 車両の代替による費用削減等の内容 該当なし
- ② 代替車両を活用した利用促進策 該当なし
- 15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1)事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果

該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

【令和5年4月1日以降の開催経過】

- 第19回(令和5年6月29日)令和6補助年度地域公共交通計画認定申請等
- ・第20回(令和5年7月:書面会議) 「JR 余市駅周辺における交通結節点基盤整備調査事業」の実施について
- ・第21回(令和5年10月4日) 郊外部における新たな公共交通の運行について 等
- 第22回(令和6年1月:書面会議)令和5年度地域公共交通確保対策事業の事業評価等
- 第23回(令和6年4月:書面会議)余市循環線運賃改定検討委員会の設置について 等
- 第24回(令和6年6月19日)令和7補助年度地域公共交通計画認定申請等
- ・第25回(令和6年9月:書面会議)余市町地域公共交通利便増進実施計画策定支援業務の委託 等
- ・第26回(令和6年11月15日) 町民アンケートの実施について 等
- ・第27回(令和7年1月:書面会議) 余市循環線の事業評価について 等
- 第28回(令和7年2月7日)余市町地域公共交通計画(素案)について 等
- 第29回(令和7年3月:書面会議)令和7補助年度地域公共交通計画変更認定申請(フィーダー) 等
- 第30回(令和7年3月書面会議)余市町地域公共交通計画の改訂について(完了報告)
- 第31回(令和7年5月書面開催)余市町地域活性化協議会収支予算案について 他
- 第32回(令和7年6月20日)令和8補助年度地域公共交通計画認定申請等
- ・第33回(令和7年8月:書面会議) 余市町デマンド交通の本格運行、利便増進実施計画について 等
- 第34回(令和7年9月:書面会議)令和8補助年度地域公共交通計画変更認定申請(フィーダー)等

19. 利用者等の意見の反映状況

- (1)公共交通アンケート調査(H29)
 - 配付数: 2,000 票、回収数:669 票(回収率:33.5%)
 - 高年が高くなるほど、運転テクニックを過信する方が多い。
 - ・公共交通はコミュニティバスの利用要望が多い。
- (2)公共交通アンケート調査(H30)
 - 配付数: 2,000 票、回収数: 542 票(回収率: 27.1%)
 - ・黒川町と余市町内の潜在需要が多いとともに、黒川町などにおいて自宅からバス停留所まで遠いとの意見が多い。
 - ・公共交通空白地域である栄町、登町等において、少数であるが公共交通の潜在需要が確認された。
 - ・余市協会病院線は通院、買物利用が多く、通勤、通学利用はごく少数となって いる。
- (3) 余市協会病院線バス乗降調査ヒアリング調査(H30)
 - 配付数:206票、回収数:104票(回収率:50.5%)
 - ・増便と低床バスの運行を望む声が多いことが明らかとなった。
- (4) JR利用者アンケート調査(R1)
 - 配付数:311票、回収数:84票(回収率:27.0%)
 - 早朝の通勤、通学の潜在需要があることが明らかとなった。
- (5) 余市紅志高校アンケート調査 (R1)
 - •配付数:119票、回収数:114票(回収率:95.8%)
 - 部活後の潜在需要があることが明らかとなった。
- (6) 余市町大川小学校アンケート調査 (R1)
 - 配付数:238票、回収数:115票(回収率:48.3%)
 - ・余市循環線による潜在需要があることが明らかとなった。
- (7) 余市循環線実証運行アンケート調査 (R3)
 - 回収数:119票
 - ・新規バス停留所設置の評価が高く、新規路線の有効性が明確となった。
 - ・西地区の運行便数が少なく西地区の住民は低評価となったため、本格運行については西地区の運行便数を確保した。
- (8) 余市紅志高校ヒアリング調査 (R4・R5)
 - ・余市紅志高校へ生徒の利用状況等についてヒアリングを実施し、現状の運行内 容で生徒利用に問題ないことを確認
- (9) 地域公共交通実態調査 (R5)
 - ・JR 余市駅周辺で利用者の公共交通利用状況についてアンケート調査を実施。 駅周辺におけるアクセス状況及び駅前再編に対するニーズを把握。
- (10) 余市循環線の運賃改定に対するアンケート調査 (R6)
 - •提出意見1件
- (11)公共交通アンケート調査(R6)
 - ・配布数:広報誌にて町内全戸配布(約8,000世帯)回収数:574票
 - ・免許返納後の交通手段としては路線バスやタクシーを要望している。
 - ・目的別の移動頻度については、通勤・通学はほぼ毎日、買い物では週1~2回、通院は月1回以下がそれぞれ高い割合となっており、交通手段としては自家用車が最も高い割合であるものの、路線バスについても比較的高い割合となっている。
 - ・路線バスの改善点として、「乗りたい時間にバスが運行していない」、「自宅からバス停までが遠い」、「バス停の待合環境が快適ではない」、「段差があってバスに乗降しづらい」、「運賃が高い」が上位となっている。

- (12) デマンド交通登録者アンケート調査(R6)
 - 配布数: 95 票 回収数: 62 票
 - 運転免許保有者でも登録しており、返納を考えている割合が高い。
 - 普段の交通手段としてはタクシー、JR・バスの公共交通機関が高い割合である。
 - 利用目的では買い物が約9割である。
- (13) 余市循環線乗降調査 (R6)
 - 回収数: 72 票
 - ・利用目的は通学・買い物が何れも約3割、次いで通院が2割。
 - 利用頻度は週5回程度が4割と最も高い。
 - 普段の移動手段としては余市駅前十字街を発着するバスが使われている。
 - ・1週間の外出回数は5回が最も多く、公共交通の利用日数も同様である。一方で 公共交通は1回以下の回答も高い割合である。
 - ・公共交通の維持に向けては、「利用回数を増やす」回答は3割弱にとどまっている。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 北海道余市郡余市町朝日町 26 番地

(所 属) 余市町地域公共交通活性化協議会

(余市町総合政策部政策推進課政策推進係)

(氏 名) 半田 和気

(電話) 0135-21-2117

(e-mail) s. suisin@town. yoichi. hokkaido. jp

注意: 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3. については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

協議会名余市町地域公共交通活性化協議会

地域公共交通計画関連書類 要綱第17条第1項に規定する下記事項の記載箇所(ページ数)を示した書類

●地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共 交通における位置付け・役割

【余市町地域公共交通計画5頁に記載】

●上記を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性

【余市町地域公共交通計画6~7頁に記載】

●地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び 実施主体の概要

【余市町地域公共交通計画6~7頁に記載】

●地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、 収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果 及びその評価手法

【余市町地域公共交通計画(資料編)11~17頁、余市町地域公共交通計画4頁及び12頁に記載】

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和8年度

r															
											张 E E	 		市区町村名	
			ž	か ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・						光海道中央バス(株)				運送予定者名	
	方面)	(6)余市町デマンド交通(権川町・沢町・豊斤町	(港町・富沢町方面)	(5)余市町デマンド交通	(美園町・山田町方面)	(4) 余市町デマンド交通		(3) 余市循環線(下校	便)	(2) 余市循環線(通常		(1) 余市循環線(登校		(申請番号)	浦行玄絲夕笙
								余市紅志	and the second second	余市駅前	米巾駅 則	}	起点		
•	四分 電口	梅川第1区 会·沢町第3	区会·梅川 団地区会	港町区会・ 富沢町第4	以 分 I	美國町区	院	余市協会病	Ħ.	余市協会病	· 祝	余市協会病	営業区域	- XX - 44 - 47 - 47 - 47 - 47 - 47 - 47 - 47	運行系統
								全 計 開 計	1000	余市駅前	高校	余市紅志	参		
	復 km	往 km	復 km	往 km	復 km	往 km	復 12.4km	往 km	8.5km	(循環)	復 km	往 12.4km		キロ程	M ‡
		46 H	_	47 日		47 H		361 II	Ι.	361 ⊟	361 H	.	I X	軍軍行	
	I G	920回	0.:0 I	94.0 回	01:0 I	94 0 🗊	1000	418 5 🗇	I	361.0 回	299.5 回		旦双	画面合作	
	(O		O)							2 推圖	進特例	利便増進
													2 措置	松特鱼	運法維維
	1 1 1 1	区域運行	T 2 4	区域運行	r S	又は浦介		路籍定期海行 (1).(9(1)	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	路線定期運行 (1)•(2)(1)	路線定期連行	# # # # # # # # /= /= /= /= /= /= /= /= /= /= /= /= /=	運行態様の別		
	(-	(1)6.		(1)6.		(1)@.(1)			(i)	1.9(1)			当する要件 (別表7・9)	経シい東番	地域内フィ (別表:
•	駅前」にて接続	JR,地域間幹線(北海道 中央バス精丹線)と「余市	駅前」にて接続	JR,地域間幹線(北海道 中央バス精丹線)と「余市	駅前」にて接続	JR,地域間幹線(北海道 由中バス藉丹線)と「全市	駅前」にて接続	 JR,地域間幹線(北海道 由中バス語ロ線)と「全市	駅前」にて接続	JR,地域間幹線(北海道 中央バス精丹線)と「余市	中央ハス槓井線)と 来巾駅前」にて接続	JR,地域間幹線(北海道	領別対象地域同幹談系統等と接続の確保	的好目評 怀 安 代 知 华	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)
								w)		<u>ن</u>	(3		する要件 (別表7のみ)	基準ホで該当	

(;

- 1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
- 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
- . 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること
- 4.「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「〇」を記載すること
- 5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
- 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
- 7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
- φ 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

(単位:人)

	\ 1 I= : 7 \ 7/
	人口
人口集中地区以外	9,900
交通不便地域	18,000

交通不便地域等の内訳

人口	対象地区	根拠法
18,000	余市町(全域)	過疎地域の持続的発展の支援に 関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定 年月日及び特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
余市町地域公共交通計画	令和7年3月21日	
余市町地域公共交通利便增進実施計画	令和7年9月24日	令和7年度

(1)記載要領

- 1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
- 2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
- 3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(以下、「交付要綱」という。)の別表7(ハ②(1))に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7(ハ②(2)(実施要領の2.(1)⑪))に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
- 4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7 (ハ② (1)) に掲げる法律 (根拠法) に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
- 5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と 記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運 輸局長等が認めた場合は、「局長指定(乗用)」と記載すること。
- 6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、利便増進特例又は運送継続特例を適用する場合に記載すること。

(2) 添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。 (ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可)

運行!	回数・サ	ーピス提供時	間算足表(D														
				計画運行日勢	₩ B	47. 0	実績運行日数	\$\tau	F		運休回数(し	ر ر <u>(</u> ر ر ر	ろ)= (は)		94. 0	*1 運行回数!(往、復、循	は、1運行を1回として 張客1回)	[カウントする。
運行	全市町	デマンド交通(美					実績運行回		J				回数(に)		00		運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	田町方			11回走11回3	。 (い) E	94. 0	サービス提供		0				/(い)=(ほ)					
	ш-,,,,	I I		<u>=</u> +	画	l) CADE	/(#/J EJ() /		-	ÆDBI (J - (C)	実績			l		備考
	曜日	片道·循環			_	運行回数	運行日数		運行	· 一回数*1			A 194	+	ナービス提供時間	1		VHI 75
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1	Æ11 L M	増便		k (-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
1		A	В	A×B=C	D D	C×D=E	F	G G	H	天災*2	J		K	[4] [A] [A]	M M	N N	0	対象外となった理由等)
		往		A A B = 0	, D	0 × D = L		u		人及"21	0		IX.		I IVI			
7年	平日	復			100.0%							時間						
10月		循			100.0%							H-(1 III)						
107		往										時間					-	
		復										分						
												計						
		循										計						
		往												で入力する場合			/	
		復												易合は「下段」		ださい。(下	/	
		循												でも入力できま		= 1= 1\ 1 \ 7 \ N	/	
		往											当月の台計値(はありません)	を入力してくだ	こさい。(唯日)	毋に分ける必	/	
		復												してください(´単位は白動 ス ・	カされます)	/	
<u></u>	L	循					ļ					<i></i>			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
小	計					L												
							1											
		片道·循環		<u>計</u>	画画	· 军在日料		1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				実 績		L L2 → +8 /L1n+ 85	1		備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数			· 回数*1	1				ナービス提供時間		1	/===== # # # # # # # # # # # # # # # # #
	四分		_		調整%		_	増便		k (-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	М	N	0	対象がこなりに程田寺が
7年		往				l												
1	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
11月		循 2																
		往										時間						
1		復										分						
1		循										計						
		往																
		復																
		循																
		往															/	
		復															/	
<u> </u>		循					ļ									1		
小	計		4	8. 0		8. 0												
				=1	本		I						- / -				ı	
1	n== -	片道·循環		it i	画細敷後の	運行回数	軍在口幣		\T.	· 一回数*1			実 績		ナービス提供時間	1		備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数	調整後の)連行凹剱 1	運行日数	196 (m				<u> </u>	中国石叶田				1 KILIMIN	(調整、増便、運休、補助
		A		4		00 5	F	増便		k (-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	対象外となった理由等)
	-		В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2	J		K	L	M	N	0	
7年	- T	往	4		100.0%							n+ 88						12月31日運休
100	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
12月		循 2										a+ 55						
		往										時間						
		復										分						
		循										計						
		往																
		復														_	/	
		循															/	
1		往											_				/	
		復															/	
- 10		循													ı	Г	/	
小	計		4	8. 0		8. 0												

建行四	引致・ブ	ーヒス提供時	间昇疋衣	V												1 軍公同業/	+ 1 軍仁ナ1回 k l オ	+ · · · + 7
				計画運行日勢	数 B	47. 0	実績運行日勢	数	F		運休回数((×) — (×	ろ)= (は)		94. 0	*! 建行回級! (往、復、循	は、1運行を1回として :環各1回)	ガリントする。
運行	余市町	デマンド交通(美	美園町・山	計画運行回	数		実績運行回		J		やむを得ない	い運休	回数(に)Ⅰ				運休のうちやむを得た	ない理由のもの
	田町方				(い) E	94. 0	サービス提信	共時間(り)	0		運行割合(ろ+に)	/ (い) = (ほ)					
				計	画					•	•		実 績					備考
	曜日	片道·循環 回数	W		調整後の	運行回数	運行日数		運行	· 一				t	├一ビス提供時間			
年月	区分	凹奴	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運体	k (-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 l	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
0.4-		往																
8年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
1月		循 2	1															
		往										時間					i l	
		復	1									分					1	
		循	1									計						
		往										<u>'</u>						
		復	1															
		循	1											_				
		往										İ						
		復																
		循	1															
/]\	計		4	8. 0		8. 0												
																	<u> </u>	
				計	画								実 績					備考
<i>-</i>	曜日	片道·循環 回数	WW. D. #4	TA D#	調整後の	運行回数	運行日数		運行	亍回数*1				+	├一ビス提供時間			
年月	区分	凹奴	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運体	k (-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
0.5		往																
8年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
2月		循 2	1															
		往										時間						
		復	1									分						
		循	1									計						
		往																
		復																
		循	1											_				
		往										1					/	
		復																
		循	1															
小	計		4	8. 0		8. 0											ĺ	
			•	•	•			•		•	•							
		11 74 45 75		計	画								実 績					備考
年月	曜日	片道·循環 回数	運行日数	運行回数	調整後の	運行回数	運行日数		運行	可数*1				+	トービス提供時間			
十万	区分	LI 30	(年1) 口奴	(年1) 四数	調整%	1		増便	運体	k (-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
8年		往																
υ +	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
3月		循 2																
		往										時間					l L	
		復										分						
		循										計						
		往																
		復															/	
		循]														/	
		往										1					/	
		復	1											_			/	
		循]					[
小\	計		4	8. 0		8. 0												

建仃四	引致・カ	ーヒス提供時	间昇疋衣	V												1 军公同数/	+ 1 軍仁ナ1回 L L オ	カウン・1 オフ
				計画運行日勢	数 B	47. 0	実績運行日勢	数	F		運休回数((v) — (č	ろ)= (は)		94. 0	*! 建行回級! (往、復、循	は、1運行を1回として i環各1回)	ガリントする。
運行	余市町	デマンド交通(美園町・山	計画運行回	数		実績運行回		J		やむを得ない	い運休回	回数(に)				運休のうちやむを得れ	ない理由のもの
	田町方				(い) E	94. 0	サービス提信	共時間(り)	0		運行割合(ろ+に)	/ (い) = (ほ)					
				計	画					,			実 績					備考
	曜日	片道·循環	VE/- D#		調整後の	運行回数	運行日数		運行	· 一回数*1				t	├一ビス提供時間			
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運体	k (-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
٥.		往																
8年	平日	復	5	10. 0	100.0%	10. 0						時間						
4月		循 2	1															
		往										時間					i h	
		復										分					1	
		循										計					1	
		往										·						
		復	-														/	
		循	1											_				
		往										1						
		復																
		循																
小	計	74	5	10. 0		10. 0												
					ı												<u> </u>	
				計	画								実 績					備考
	曜日	片道·循環	VE (= - W)			運行回数	運行日数		運行	· 一回数*1				+	トービス提供時間			, s
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1		増便		k (—)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間] K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
		往	_		_			_		7121 = 1	_			_			-	
8年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
5月	' -	循 2																
0,,		往										時間					1	
		復	-									分	•••••				1	
		循						l				計					1	
		往																
		復															/	
		循												_				
		往																
		復	-															
		循										_						
小	計	70	4	8, 0		8, 0												
					l.			l.										
				計	画								実 績					備考
	曜日	片道·循環	VEX 144	1		運行回数	運行日数		運行	· 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一				+	トービス提供時間			
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	1		増便	運体	k (—)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
0.5		往	<u> </u>						-	1		\Box	-			-		
8年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
6月		循 2	1			1						"						
~~		往										時間					1	
		復										分					1	
		循										 計					1	
		往												1				
		復															/	
																	/	
		往										İ			=		/	
		復															/	
		循	1														/	
小	計	1 7	4	8. 0		8. 0	1											
<u> </u>								·										

運行回	ョ数・サ	ービス提供時	間算定表(D														
				計画運行日	₩ R	47.0	実績運行日	₩ <i>t</i>	F		運休回数(は	(A) — (A)	ろ)= (は)		94. 0	*1 運行回数/ (往、復、循	ま、1運行を1回として 3理タ1回)	カウントする。
運行	全市町	デマンド交通(主周町・川				実績運行回		J				回数(に)Ⅰ		01.0		「 ^{味台} 「凹) 運休のうちやむを得り	ない理由のもの
	田町方		大国町 田	前回建订图:	***(い) E	94. 0	サービス提供		0	+			/(い)=(ほ)			_ > 1> 1 m,10 · (A211 11 7 7 1 0 2 1 1 1	
711170	Ш М] /)	四 <i>7</i>		≣+	画) CALE	大时間(ツ)	0		在11町日 (J - (C)	実績					/# ×
		片道·循環		1)運行回数	運行日数		2雷 4	亍回数*1		1	大 惧	+	ナービス提供時間			備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数	調整%		建1]口数			木 (一)	C+G+H=		実運行時間		回送時間	予約時間] K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
	E-73	A	В	A×B=C	D D	0.40-5	F	· G G	H	天災*2			天連11时间	1寸1成1寸1回]	M M		0	対象外となった理由等)
-			D	A × b – U	U	C×D=E	<u> </u>	u	п	大火*2 1	J		N.	L.	M	N	U	
8年		往	5	10. 0	100.0%	10. 0						時間						
	平日	復		10.0	100.0%	10. 0						时间						
7月		循 2			-							a+ 55					- I	
		往										時間						
		復										分						
		循										計						
		往																
		復																
		循															/	
		往											_					
		復						[-				
		循																
小	計		5	10. 0		10. 0												
		片道・循環		計	画								実 績					備考
年月	曜日	口担 1個環 回数	運行日数	運行回数	調整後の)運行回数	運行日数			亍回数*1				+	┡━ビス提供時間		_	
4/1	区分		(上) 口奴	(上) 四数	調整%			増便	運体	ホ (−)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
8年		往																
0.#	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
8月		循 2																
		往										時間					1	
		復										分					1	
		循										計					1	
		往																
		復																
		循												_				
		往										1						
		復																
		循																
小	計		4	8. 0		8. 0												
		•		•	•			•										
		11 34 (75 877)		計	画								実 績					備考
年月	曜日	片道・循環 回数	運行日数	運行回数	調整後の)運行回数	運行日数		運行	· 一回数*1				+,	トービス提供時間			
十月	区分		E11口数	(注1) 四数	調整%	1		増便	運体	ᡮ (一)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	$A \times B = C$	D	$C \times D = E$	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
8年		往																
8年	平日	復	5	10. 0	100.0%	10. 0						時間						
9月		循 2																
		往										時間					i	
		復										分					1	
		循										計					1	
		往												1				
		復																
																	/	
l		往	1			+						ł					/	
l		復																
		循																
小	計	VE	5	10. 0		10. 0											<u>r </u>	
合	計		47		 	94. 0												
	H I		1 4/	J4. U		J4. U		l							l			

Œ 11 E	130X 7	「一ヒス提供時	间异化衣(<i>&</i>												- *1 運行回数/	は、1運行を1回とし ⁻	てカウントする
				計画運行日	数 B	47. 0	実績運行日	数	F		運休回数(い) — (・	ろ)= (は)		94. 0	(往、復、循	は は環各1回)	
運行	余市町	デマンド交通(タ	き町・富沢	計画運行回	数	94. 0	実績運行回		J				回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	町方面)			(い) E	01.0	サービス提	供時間(り)	0		運行割合(ろ+に)	/(い)=(ほ)					
		片道・循環		計	画			1					実 績			_		備 考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数)運行回数	運行日数			回数*1	1				一ビス提供時間	-	1	/ am wife (Michael Van (II. Libra)
	区分	A	_		調整%		_	増便		(-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
			В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	М	N	0	が扱うでもった空間も
年	平日	往			100.0%							時間						
10月	* =	復			100.0%							时间						
1073		1 往										時間					-	
		復										分						
		循										/3 計				ł		
- 1		往											Γn+ 88 ₩ /↓		- F En			
		復												で入力する場合		「時間+分単 どさい。(下段		
		循										は	「分」のみでも	あるは・「段」 も入力できます)	- C 0 . (11+X		
		往										*	当月の合計値を	上入力してくだ	さい。(曜日毎	事に分ける必要		
		復											ありません)	ナノギナハ (光上上方卦ュュ	h + to + + \		
		循										***	数値のみ入力し	_ン てください(単位は日期人力]されます)		
小	計																	
		片道・循環		計	画	V#/	VT (= - V.:		\E_ (= 1	D# .1			実 績		1 % = 4B /II et pp	-		備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数)運行回数 7	運行日数	TM- 1==		回数*1	1	<u> </u>			一ビス提供時間		1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	(細數 梯序 電片 ++丸
	区分	A	n	A V D O	調整%	00 5	_	増便		(-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
			В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2	J		K	L	М	N	0	// 数// こびりに建国 (7)
⊭	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
11月	* =	12 2	4	0. 0	100.0%	0. 0						时间						
""		往										時間					-	
		復										分						
		循										 計						
ŀ		往												ļ.		<u> </u>		
		復															/	
		循												_				
1		往																
		復																
		循																
小\	計		4	8. 0		8. 0												
		片道・循環		計	画	W			W /- I	- W . 1			実 績		. » — 10 /II n± 00	-		備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数)運行回数 7	運行日数	194 /Œ		回数*1	1		中国石叶明		一ビス提供時間		1 2	(調整、増便、運休、補助
	卢 历	А	В	A×B=C	調整% D	C×D=E	F	増便 G	理仆 H	天災*2	C+G+H= J		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間 N	K+L+M+N= 0	(調金、増使、連体、補助 対象外となった理由等)
		往	D	A×D-U	U	CXD=E	Г	u	п	大火*2 1	J		n.	L	M	IN .	U	12月31日運休
年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間				1		12/101 FIXE PP
12月	- 11	循 2	,	0.0	100.0/0	0.0		ļ				H/J [EI]				1		
1273		往					-					時間				 		
		復										分		·····		t		
		循						·····				 計		†····		t		
		往										T-'-			1			
		復															/	
		循												_			/	
		往										1					/	
		復															/	
		循																
/J\	計		4	8. 0		8. 0												
																		

建1] 匠	引致こり	ーヒス提供時	间异化衣(2												. *1 渾行回数!	は、1運行を1回として	カウントする
				計画運行日		47. 0	実績運行日		F		運休回数(94. 0	(往、復、循	環各1回)	
		デマンド交通(ネ	巷町・富沢	計画運行回	数	94. 0	実績運行回		J				回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	、運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	町方面)		=	(い) E		サービス提	供時間(り)	0		連行割合(ろ+に)	/ (い) = (ほ)					
		片道·循環		計		· 军在回业	VB /- D #/	1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	3#4.1		_	実 績		L L 2 → ±0 /44 n± 80	<u> </u>		備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数	調整後の	運行回数 1	運行日数	増便	運休	回数*1	C+G+H=		実運行時間	待機時間	ナービス提供時間 回送時間	予約時間] K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
	E 73	A	В	A×B=C	副月至70 D	C×D=E	F	· 信使 G	H	天災*2	J U+u+n—		天理11时间	1寸/成1寸 町	M	N N 42 141	0	対象外となった理由等)
		往	D	A^D-U	U	0 × D = E	Г	u	П	人火*2 1	U		K	L	M	IN	0	
3年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
1月	, .	循 2	·															
		往										時間					i F	
		復										分						
		循										計						
		往																
		復																
		循										4					/	
		往																
		復 循										_						
/J\	計	VE	4	8. 0		8. 0												
							ı										1	
		片道・循環		計									実 績					備考
年月	曜日	万坦·加琛 回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行[ナービス提供時間		,	
' '	区分				調整%		_	増便	運休		C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		К	L	М	N	0	A 象がとなりに在田寺/
年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
2月	+ 11	循 2	· ·	0.0	100.0%	0.0						N/J [EI]						
-/,		往										時間					†	
		復										分						
		循										計						
		往																
		復																
		往										4					/	
		復																
		循										ــ ا					/	
/]\	計	PH .	4	8. 0		8. 0												
				•		•												
		片道・循環		計				ı					実 績					備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数	144.5=	運行[1				ナービス提供時間		1	(=====================================
	区分	A	В	A×B=C	調整% D	C×D=E	F	増便 G	運休 H	(一) 天災*2 I	C+G+H=		実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M	予約時間	K+L+M+N= 0	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		往	D	A^D-U	U	0×D—E	Г	u	П	人火*2 1	J		K	L	M	N	0	
8年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
3月	. –	循 2	·															
		往										時間					i l	
		復										分						
		循										計						
		往																
		復														-	/	
}		循 往		-		 						1					/	
		復															/	
		循																
/]\	計		4	8. 0		8. 0												

建1] 匠	引致こう	ーヒス提供時	间异化 农	<i>2</i>												*1 運行同数/	は、1運行を1回として	カウントする
				計画運行日		47. 0	実績運行日		F		運休回数(94. 0	(往、復、循	環各1回)	
		デマンド交通(ネ	巷町・富沢	計画運行回	数	94. 0	実績運行回		J				回数(に)Ⅰ			*2 天災欄は、	、運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	町方面)			(い) E		サービス提	供時間(り)	0		連行割合(ろ+に)	/ (い) = (ほ)					
		片道·循環		計		2年7月4	VER /= E- W/		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	3#4.1			実 績		L 12 → ±0 /± n± 88			備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数	調整後の	運行回数	運行日数		運休	回数*1	C+G+H=		実運行時間	待機時間	ービス提供時間 回送時間	予約時間] K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
	E 73	A	В	A×B=C	副月至70 D	C×D=E	F	·盲使 G	H	天災*2	υ+u+n— J		天理11时间	1寸/成1寸 町	M M	N N which let	0	対象外となった理由等)
		往	D	A^D-U	U	0 × D = E		u	П	人火*2 1	U		N.	L	M	IN	0	
3年	平日	復	5	10. 0	100.0%	10. 0						時間						
4月	, .	循 2	-															
		往										時間					i F	
		復										分						
		循										計						
		往																
		復																
		循															/	
		往																
		復 循																
/]\	計	VE	5	10. 0		10. 0												
			_										<u> </u>				1	
		片道・循環		計									実 績					備考
年月	曜日	│ 万道:循環 │ 回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行[トービス提供時間			
773	区分				調整%			増便	運休		C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		К	L	М	N	0	対象がとなりに建田寺)
3年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
5月	平日	1	4	0. 0	100.0%	0. 0						时间						
٠,٠		往										時間					 	
		復										分						
		循										計						
		往																
		復															/	
		循										1					/	
		復																
		1.12										_						
/]\	計	VH	4	8. 0		8. 0											<u> </u>	
		片道・循環		計									実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数		運行[1				トービス提供時間		,	/amate interventi
	区分	A	В	A V D O	調整%	00 5	F	増便	運休		C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間 M	予約時間	K+L+M+N= 0	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		在 往	В	A×B=C	D	C×D=E	r	G	Н	天災*2	J		K	L	М	N	U	7,337, 0 0 7 7 7 2 2 3 7
8年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
6月	, .	循 2		0.0	100.00	0. 0						× 5 125						
		往										時間					i F	
		復										分						
		循										計						
		往																
		復															/	
		循										-					/	
		往 復															/	
																	/	
/]\	計	1	4	8. 0		8. 0											<u> </u>	
							•					•						

建行时	引致、ハ	ーヒス提供時	间异化农	2												y1 渾仁同粉;	ま、1 運行を1回として	てカウントナス
				計画運行日数	数 B	47. 0	実績運行日	数	F		運休回数(い) — (;	ろ)= (は)		94. 0	(往、復、循		こがプラドする。
運行	余市町	デマンド交通(シ	巷町・富沢	計画運行回	画運行回数		実績運行回	J				回数(に)			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの	
系統	町方面)			(い) E	94. 0	サービス提	供時間(り)	0		運行割合(ろ+に)	/(い)=(ほ)					
		片道・循環		計									実 績					備考
年月	曜日	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数			回数*1	,	L.,			ービス提供時間		,	Comple 146 for 150 for 150 for 1
	区分				調整%		_	増便	運休		C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2	J		K	L	М	N	0	バタバこもりに在出せり
8年	平日	往	5	10. 0	100.0%	10. 0					-	時間						
7月	平日	復 2	9	10.0	100.0%	10. 0						时间						
7,5		往										時間					 	
		復	-								-	分						
		循										/3 計						
		往												l				
		復															/	
		循												_			/	
		往															/ [
		復	1															
		循																
小	計		5	10. 0		10. 0												
							"											
		片道・循環		計		YP/- □ #4	VB / W	1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	T #44 . 1		1	実 績		L 2 → 48 /44 p+ 86	-		備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数	調整後の調整%	運行回数	運行日数	増便	運休	回数*1	1		中軍仁吐服	待機時間	一ビス提供時間	予約時間] K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
	四川	А	В	A×B=C	調整% D	C×D=E	F	理使 G	理 H	天災*2	C+G+H=		実運行時間 K	付機時间 L	回送時間 M	予約時间 N	N+L+M+N= 0	対象外となった理由等)
		往	В	A A B — U	U	0×D-E	Г	u	п	人火*2 1	J		K	L	M	IN	0	
8年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0					-	時間						
8月	'	循 2		0.0	100.0%	0. 0						K-0 (140						
0,1		往										時間						
		復									-	分						
		循										計						
		往										•						
		復															/	
		循															/	
		往											_					
		復															/	
di	=1	循		0.0		0.0								·	Ī	1		
小	計		4	8. 0		8. 0												
	l	1	1	計	画								実 績					# *
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行[回数*1		1	× 194	+	ービス提供時間	1		備考
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%]	Æ110 M		運休		C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間] K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
0.45		往																
8年	平日	復	5	10. 0	100.0%	10. 0						時間						
9月		循 2																
		往										時間						
		復										分						
		循										計						
		往															/	
		復														_	/	
		循										1					/	
		往															/	
		復						ļ		<u> </u>		_					/	
//\	計	循	5	10. 0		10. 0	-							I		I	<u> </u>	
合	計		47	94. 0		94. 0												
I	н		I 7/	J-7. U	1	J-7. U	1	1						l	l	·		

連行四	リ数・サ	ーピス提供時	間昇足表(3)														
				計画運行日数	数 B	46. 0	実績運行日数	数	F		運休回数(は	(v) — (z	ろ)= (は)		92. 0	* 連行回数 (往、復、循	は、1運行を1回として∶ ≔&1回)	カウントする。
運行	全市町	デマンド交通(ホ	川町・沢				実績運行回数	J				回数(に)			*2 天災欄は、	運休のうちやむを得な	い理由のもの	
		丘町方面)	37.1.3		(い) E	92. 0	サービス提信	共時間(り)	0		運行割合(ろ+に)	/ (い) = (ほ)			1		
				計	画	•				•		実績			•			備考
	曜日	片道:循環 回数	運行日数	運行回数	調整後の	運行回数	運行日数		運行[回数*1				+	ナービス提供時間]		-
年月	区分	四数	建1」口数	建1] 凹数	調整%	1		増便	運休	(-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
7年		往																
-	平日	復			100.0%							時間						
10月		循																
		往										時間						
		復										分						
		循										計					ļ ,	
		往										*	「時間単位」「	で入力する場合	は「上段」、	「時間+分単		
		復											」で入力するは			ださい。(下	/	
		循											は「分」のみる			= に八けぇ心	l / ⊦	
		往										更 ※	当月の合計値ではありません)	と人力してくた	さい。(唯口:	毋に ガリ る必		
		復											数値のみ入力し		単位は自動入	カされます)		
/]\	計	循												I	I	· · · · · ·		
/]\	āl																	
				11	画								実 績					
	曜日	片道・循環				運行回数	運行日数		運行[回数*1		1	大 膜	+	ナービス提供時間	1		VHI 75
年月	区分	回数	運行日数	運行回数	調整%]	Æ110 M		運休		C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間] K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D D	C×D=E	F	G G	H	天災*2	J		K	10.18640.183	M	N N	0	対象外となった理由等)
		往		71115			· ·			7454.2.1				_			Ů	
7年	平日	復	4	8. 0	100.0%	8.0						時間						
11月		循 2																
		往										時間					i	
		復										分					1	
		循						•				計						
		往												•	•			
		復																
		循															/ L	
		往											_					
		復																
		循																
/J\	計		4	8. 0		8. 0												
		_																
		片道・循環		計		V#4-0#	W	ı	V₽ /- r	7#4 . 1			実 績		> → 48 /¥ o+ 86			備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		運行回数	運行日数	124 /==		回数*1					ナービス提供時間		1	(調整、増便、運休、補助
	ムガ	A	В	AVD 0	調整% D	0.40 5	F	増便	運休		C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間 M	予約時間	K+L+M+N= 0	問金、増使、連体、補助 対象外となった理由等)
			В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2	J		K	L	M	N	0	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
7年	平日	往	4	8. 0	100. 0%	8. 0						時間						
12月	+-	復 2	4	0.0	100.0%	0.0						时间						
12月		循 2 往					-					時間					∤ ⊢	
		復										分						
		循										計						
		往										81		I	I		 	
		復															/	
																	/	
		往					 					1					/	
		復															/	
		循															/	
/]\	計		4	8. 0		8. 0	Ï											
						•	•											

A B A×B=C D C×D=E F G H 天災*21 J K L M N 0 対象外となった理由等) 8年 年 4 8.0 100.0% 8.0 時間 9 時間 9 <t< th=""><th>建行凹</th><th> 数・サ</th><th>ーピス提供時間</th><th>间算足表(</th><th>3)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>	建行凹	数・サ	ーピス提供時間	间 算足表(3)														
### PROPERTY OF PROPERTY					計画運行日数	数 B	46. 0	実績運行日初	数	F		運休回数(は	,v) — (<i>z</i>	3)= (は)		92. 0	* 連行回数に (往 復 循	は、1連行を1回としつ ≔&1回)	てカウントする。
The part	運行	行 会市町デマンド交通(梅川町・沢													運休のうちやむを得	ない理由のもの			
### 25				#//IF3 // V	nez-ne,	~ (い) E	92. 0												
## 20					計	画													借 老
## 12		曜口	片道·循環)運行回数	運行日数		運行	可数*1			, 1 ₁ 2	+	ナービス提供時間			/н ·- /
# 전	年月		回数	運行日数	運行回数		1	Æ110 M	抽価			C+G+H-		宇運行時間				1 K+I+M+N-	(調整 増便 運休 補助
12			Δ	R	A ∨ B — C		C × D = E	E	l								l		
## 15 例 2 4 8.0 100.0				ь	A A D — C	D D	0 × D = L	-	u	- "	人类**2 1	- 0		IV.		IVI	IN IN		1日2日渾休
1月	8年	₩ 🗆		4	0 0	100.0%							吐甲						1月2日建作
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本		+-		4	0. 0	100.0%	0. 0						时间						
1	¹ /3																	-	
作																			
中																			
後 後 後													計					ļ,	
株式 株式 株式 株式 株式 株式 株式 株式																		/	
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本																			
数 数 数 数 数 数 数 数 数 数																			
中																			
## 日 4 8.0 8.0 8.0			復																
## 日 図日 片足・循環 2 日 日			循																
## 1	/]\	計		4	8. 0		8. 0												
## 1																			
## 2月			山学 循環		計									実 績					備考
A	在 日)軍行口粉	海 行同粉	調整後の	運行回数	運行日数		運行	回数*1				+,	ナービス提供時間			
## 世	十万	区分		建11口数	座1]回数	調整%	1		増便	運休	(-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
## 2月			A	В	$A \times B = C$	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	M	N	0	対象外となった埋田等)
#日 使 2 4 8 0 100.05 8 0 9所間	0.4-		往																
住	0 .T.	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
接	2月		循 2						•••••										
接	ľ		往										時間					1	
## 位																		1	
住										•								•	
佐 (佐 (佐 (佐 (佐 (佐 (佐 (佐	ľ																		
情報																			
注 (根			循								***************************************				_				
作	f																		
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##																			
小計 4 8.0 8.0 8.0 実績 年月 片道・循環 回数 A B A X B = C D A B A X B = C D D C X D = E G B G B G B G B G B G B G B G B G B G													_						
File	//\	計		4	8. 0		8, 0											ſ	
年月 開催日区分 運行日数 運作人 大量体 以東運行時間 存機時間 回送時間 予約時間 K+L+M+N= 対象外となった理由等) 8年 4 8.0 100.0% 8.0 9 時間 9																			
年月 曜日 区分 万道・循環 図					計	画								実 績					備考
A B A×B=C D C×D=E F G H 天災*2 I J K L M N O 対象外となった理由等) SF	<i>F</i> =	曜日		宝/- 口#	宝石 同業	調整後の	運行回数	運行日数		運行	回数*1				+,	ナービス提供時間			
8年 平日 往	十万	区分	шж.	達1]口数	建1] 凹数	調整%]		増便	運休	(-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
8年 3月 年日 億 2 4 8.0 100.0% 8.0 日 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 100.0% 8.0			A	В	$A \times B = C$	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	М	N	0	対象外となった理由等)
平日 復	0.4-		往																
住	84	平日	復	4	8. 0	100. 0%	8. 0						時間						
住	3月																		
後 分 分 日 日 日 日 日 日 日 日													問制						
値注復値(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)(を)																			
住 復 循 住 復 循																			
復	ŀ																		
「循																		/	
住 復 循																			
復	}												ł			_			
																		/	
																		/	
9' 81 7 0.0 0.0	//>	計	VE	Л	8 0		8.0											<u> </u>	
	′1,	п		4	0.0	<u> </u>	0.0	<u> </u>		1						l .	l	<u> </u>	

建1] 凹	13XX. A	一ヒス提供時	则异化 衣(2)												*1 渾行同数/	は、1運行を1回として	カウントオス
				計画運行日数	数 B	46. 0						(1) — (2	ろ)= (は)		92. 0	(往、復、循		
		デマンド交通(桙	川町・沢	計画運行回数	数	92. 0	実績運行回		J			い運休回数(に)				*2 天災欄は、	運休のうちやむを得	ない理由のもの
系統	町・豊.	丘町方面)			(い) E	02.0	サービス提供	共時間(り)	0		運行割合(ろ+に)	/(い)=(ほ)					
		片道・循環		計	画								実 績					備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数		り運行回数	運行日数			回数*1	1				ナービス提供時間			(=m+6 14/F \B) 1 14 n
	区分			l	調整%		_	増便	運休		C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2	J		К	L	М	N	0	// かがりこびりに理論が
8年	平日	往	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
4月	+-	復 2	4	0.0	100.0%	0.0						时间						
4/7		往				+	-					時間					-	
		復				1						分						
		循				1						/j 計						
		往												I				
		復				1											/	
		循				1								_				
ı		往										1						
		復				1												
		循																
小	計		4	8. 0		8. 0												
		片道・循環		it I		0. 軍行同業	WE C D #4	ı	宝仁「	=1 *41			実 績		ナービス提供時間			備考
年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数	調整%	り運行回数 コ	運行日数	増便	運休	回数*1	C+G+H=		中軍仁吐用	待機時間		予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
	E-73	A	В	A×B=C	調整物 D	C×D=E	F	增便 G	H	天災*2	J + u+n=		実運行時間 K	付饭时间	回送時間 M	ア利時间 N	0 K+L+M+N=	対象外となった理由等)
		往	D	AAD-U	U	UADE		u	П	大火*2 1	U		N.	L	IVI	IN	U	
3年	平日	復	5	10.0	100.0%	10. 0						時間						
5月	, –	循 2	· ·	10.0	100.070							* 0 I=0						
-/,		往				1						時間					•	
		復										分						
		循										計						
		往																
		復				1												
		循																
		往																
		復				1												
ds	⊕⊥	循	5	10. 0		10. 0								ı				
小	計		5	10.0		10.0												
				īt	画								実 績					
	曜日	片道・循環 回数	72/- D.W.	W-0*	調整後の	り運行回数	運行日数		運行[回数*1				+	ナービス提供時間			vr o -3
年月	区分	山奴	運行日数	運行回数	調整%	7		増便	運休	(-)	C+G+H=		実運行時間	待機時間	回送時間	予約時間	K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
		A	В	A×B=C	D	C×D=E	F	G	Н	天災*2 Ⅰ	J		K	L	M	N	0	対象外となった理由等)
8年		往																
.	平日	復	4	8. 0	100.0%	8. 0						時間						
6月		循 2																
		往										時間						
		復				1						分						
-		循				+						計					 	
		往													_		/	
								ļ										
}		往										1					/	
		復																
		循															/	
/]\	計		4	8. 0		8. 0	1											
					-	•	•				•							

日本語 日本	建1] 凹	13X. A	一ヒス提供時	即异化众人													*1 運行同数/	は、1 運行を1回として	カウントする。
## 1					計画運行日数	数 B	46. 0			F						92. 0	(往、復、循	環各1回)	
# 2	運行	余市町	デマンド交通(格	毎川町・沢	計画運行回数	数(ハ)「	92. 0										*2 大災欄は、	連休のうちやむを得な	にい埋田のもの
## 1 ## 1 ## 1 ## 1 ## 1 ## 1 ## 1 ##		町・豊」	工町万田)					サーヒス提供	共時間(り)	0		連行割合(ク+に <i>)</i>						***
## 20		n33 C			1		海行同数	電气口粉	l	渾行	1 %/ ↓1		1	天 槙	+	+ビフ担併時間	1		備考
A	年月	曜日 区分	回数	運行日数	運行回数			建1]口数				1 04044-		宇運行時間				7 KTLTMTN-	(調整 増価 運休 補助
# 7日 位 5 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10.0 10			A	R	A×R=C		C×D=F	F				-					l		
T	_		往		71115		0.10	· ·			7,7,12	•			_				
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	年	平日		5	10.0	100.0%	10. 0						時間						
1	7月		循 2																
情報] [
中央																			
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本													計						
接換 100																_			
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本																			
中 計	ŀ																	/	
中 計																			
## 2																			
## 25	/]\	計		5	10. 0		10. 0												
## 25					ē.L	- Table		1						rb					
# 日		□) 運行回数	運行口数	ı	運行[∃数∗1		т —	天 槙	+	ナービス 提供時間	1		(備 考
## Parameter Factor Fact	年月	区分	回数	運行日数	運行回数]	建订口数				1 c+g+H=		実運行時間				1 K+L+M+N=	(調整、増便、運休、補助
# 8月 平日 度 2 4 8.0 100.0% 8.0			A	В	A×B=C		C×D=E	F				-		l .			l		
# 1	0年		往																
住 住		平日		4	8. 0	100. 0%	8. 0						時間						
位 位 分 計	8月																		
情報																		.	
住 (.	
接	ŀ														I				
住 (根																			
接																		/	
情報																			
小 計 4 8.0 8.0 8.0 東標 年月 図分																			
## P P P P P P P P P P P P P P P P P P	//\	計	1/8	4	8.0		8.0	 						1					
年月 曜日 区分 「直・循環 回数 図 運行日数 図 運行日数 図 運行日数 図 運行日数 図 運行日数 図 運行日数 図 運作日数 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図					0.0		0.0		l						ı	ı			
年月 配子 回数 運行日数 工業			山学 作理		計									実 績					備考
Mage	年月	曜日		運行日数	運行回数)運行回数 1	運行日数				1						,	/2mm/s 144/m 10011 1000
年 住 0<		区分	,				0.45 5	_				.I							
平日 復				R	N×R=C	D	U×D=E	F	G	H	大災*2	J	<u> </u>	K	L	M	N	U	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
9月	3年	平日		4	8. 0	100.0%	8 0						問報						
住 (2) (3) (3) (4) (2) (6) (4) (6) (4) (7) (4) (8) (8) (9) (8) (1) (1) (1) (1) (2) (1) (3) (1) (4) (8) (5) (8) (6) (8)	9月			,									,						
信	Ī												時間					1 -	
注 (2]	
後 後													計						
1																_			
注 (表																			
複	ŀ												1					/	
「循												1						/	
合 計 46 92.0 92.0																			
	合	計		46	92. 0		92. 0												